

## 地対協コーナー

日本専門医機構は7月20日の理事会で、新専門医制度について「2018年度をめどに一斉開始」との方針を示しました。国民、地域関係者の懸念を払拭できていないことを理由に挙げ、2018年度の制度開始までに、専門医のあるべき姿を含め、地域偏在の是正策や、サブスペシャルティ領域などを検討していく予定です。

ただし、専門研修プログラムについては、新制度・旧制度のいずれかを採用するかは各学会に委ねており、特に内科ではその決定が待たれるところです。

日本専門医機構の決定に先立ち、国では都道府県に対して医師会、大学、病院関係者をはじめとした関係者の協議の場の立ち上げを要求していました。広島県ではこの地対協の中の医師不足対策専門委員会をそれと位置づけていますが、専門医制度に振り回されることなく、広島県に若手医師を呼び込むために、関係者が一丸となり対応していかなくてはなりません。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地対協ホームページ(<http://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○医師不足対策専門委員会

日時：平成28年6月6日(月) 19時00分

場所：広島県医師会館301会議室

委員長：平川 勝洋

厚生労働省が示した「専門研修プログラムの策定に向けた調整方針」に基づき、本委員会を平成29年度から開始予定(開催当時)の新専門医制度における「協議の場」と位置づけ対応していくことを関係者間で共有し、専門研修プログラムの申請状況の確認や制度導入に向けた県内外へのPR活動などについて協議・検討した。

### 報告・協議事項

#### (1) 新専門医制度に係る県内の検討体制及び内科WGの開催について

上記の通り、本委員会を本県における「協議の場」として位置づけ協議・調整を進めていく旨説明があった。また、他診療科と比較し、内科領域は特に県内への影響が懸念されるため、本委員会内にWGを設置し、5月24日(火)に意見交換したことを報告した。

※WG会議の詳細は、広島県医師会速報第2305号(7月15日号)にて既報。

#### (2) 専門研修プログラムの申請状況について

厚生労働省から広島県に提供された内科・外科・整形外科・産婦人科・救急科の5診療科の専門研修プログラムの申請状況、施設連携状況、募集希望数のデータを共有したほか、広島大学の各診療科から各科のプログラム概要と今後の動向の報告が、その他施設からは、基幹施設と

連携施設の両面の立場から、現状報告があった。

委員からは、日本専門医機構や各学会の動向のほか、これまで卒後3年目以降の医師が派遣されている施設の漏れなどを懸念する意見があった。

#### (3) 新専門医制度の導入に向けた県内外医師へのPR活動について

研修プログラムの魅力などを広く研修希望者に発信し、広島県に若手医師を呼び込むことで医師の確保や定着につなげていく必要性を確認した。

広島県地域医療支援センターで一元的な情報発信と広報活動などを展開するとともに、主要な診療領域の関係者と広島県知事、広島県医師会会長などが一堂に会した写真などをPR活動に統一して使用することにより、県全体で新専門医制度を推進する「オール広島県」のイメージを県内外に発信し、広く印象づけるといった取組方針が提案され、承認された。

#### (4) 広島県保健医療計画(第7次)の策定について

広島県保健医療計画(第6次)の計画期間が平成29年度で終了することから、現在、第7次計画の策定に向けた検討が行われている。本委員会へも医療従事者確保対策における目標値の設定や具体的な対策、需給見通しなどの検討について意見照会を予定している旨説明があった。

**○救急・災害医療体制検討専門委員会MCLS-CBRNEコース準備WG**

日 時：平成28年6月10日(金) 10時00分

場 所：県立広島病院

委員長：山野上 敬夫

昨今の社会情勢の変化や東京オリンピックの開催を見据え、地域で特殊災害に対応可能な人材の育成に努めるべく、救急・災害医療体制検討専門委員会内にMCLS-CBRNEコースの企画・調整を行うWGを設置した。

MCLS (Mass Casualty Life Support) - CBRNEコースは、日本集団災害医学会のMCLS標準コースの上級編として化学・生物・放射線・核・爆発などの特殊災害への対応に焦点を当てた内容で開発され、災害医療または防災業務に従事する者が互いに連携して特殊災害時に発生した多数傷病者への対応を適切に行うことにより、傷病者の救命率及び社会復帰率の向上に資することを目的としている。

本WGでは、12月11日(日)、広島県医師会館にて開催のコース実施に向けた募集方法やスケジュールなどについて検討した。

**○特定健診受診率向上専門委員会**

日 時：平成28年6月13日(月) 19時00分

場 所：広島県医師会館401会議室

委員長：木原 康樹

前回の委員会で指摘のあった請求事務手続きに関する調査結果や広島県の現状・取り組み状況を報告後、受診率向上に向けた対策について協議した。今後、委員所属の各市町と地区医師会が共同で状況把握を行い、具体的な目標を定め取組を進めていくこととした。

**報告・協議事項****(1) 各地区の特定健診事務手続きに関する調査結果について**

調査の結果、検体検査と特定健診の請求データの電子化作業は一本化されていない機関がほとんどで、同一機関内でも、検査結果データと請求データの紐付けができないところがあると判明した。結果をもとに、特定健診実施機関の意欲向上を図る観点で意見交換した。検査センターを有する医師会所属の委員からは、サービス向上により利用増の可能性も含めて持ち帰り検討したいとの意見があった。

**(2) 平成28年度における特定健診実施率向上に向けた取組について**

広島県から、県内の特定健診実施状況や受診率向上に向けた取組み、今年度中に創設予定のヘルスケアポイント制度の概要、さらには厚生労働省が特定健診実施計画の策定に向け作成した「特定健診・保健指導の3疾患関連入院外医療費への効果額シミュレーションツール」などについて説明があった。

委員からは、特定健診の案内を送付する際の工夫や、独自のツールを用いた受診率向上に向けた対策など、これまでの各市町での取組や現状について報告があった。また、他の市町での取組を参考に取り入れていきたいとの意見があった。

**(3) その他**

木原委員長より、出席委員に対してシミュレーションツールについて各市町での使用を促すこと、また可能であれば数値目標を含めた具体的な行動計画を市町と地区医師会が共同で立てよう提案があった。

**○胃内視鏡検診実施体制検討WG**

日 時：平成28年6月27日(月) 19時30分

場 所：広島県医師会館401会議室

委員長：吉原 正治

「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正を受け、市町の実施する対策型検診の検診項目に胃内視鏡検診が追加されたが、同検査は、重篤な偶発症の発生が予測されるなど、侵襲性が比較的大きい。そのため、がん対策専門委員会内に本WGを設置し、検診の安全性の確保、精度管理体制・実施条件において県内一定の条件を定めるべく協議・検討を行った。

**報告・協議事項****(1) 広島県における胃内視鏡検査導入に係る検討について**

各市町が対策型検診に胃内視鏡検査を導入する上で重要なのは、安全性の確保と精度管理であると共通認識を図った上で、本WGの設置目的である県内の検診の精度を一定に保つため、統一の精度管理体制の基準について検討した。

・検診を実施する胃内視鏡検査医の条件について

日本消化器がん検診学会による「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2015年度版」（以下：マニュアル）には検査医の条件として3つの条件が示されている（表1参照）。

3の胃内視鏡検診運営委員会が定める条件について、専門医資格を有していないが、積極的に内視鏡を実施している熱心な医師を救済するため、県内一定の条件として「年間100件には満たないが、十分な実績があり、県の実施する研修会・講習会への出席が一定以上である」と定めることとした。

1	日本消化器がん検診学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医
2	概ね年間100件以上実施している医師
3	胃内視鏡検診運営委員会が定める条件に適用し、1および2の条件を満たす医師と同等の経験、技量を有すると認定した医師

・読影委員会メンバーの医師の条件について

マニュアルには、読影医の条件として2つの条件が示されている（表2参照）。

2のダブルチェックを行うに足る技量があると認定した医師について、検診を実施する医師と同等のレベルであることを考慮し、県内一定の条件として「日本消化器病学会専門医で、かつ概ね年間100件以上実施している十分な経験、技量を有する医師」と定めることとした。

1	日本消化器がん検診学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医
2	胃内視鏡検診運営委員会がダブルチェックを行うに足る技量があると認定した医師

なお、今回検討した内容については、県から各市町へ情報提供を行い、次回8月29日(月)に開催予定のWGまでに各市町から出た意見などを踏まえた上で、最終的に条件を定める予定とした。

## 県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- C型肝炎「わたしの手帳」 など

【パンフレット・マニュアル】

- 広島県のつつが虫病と日本紅斑熱について
- 予防接種の普及を目指して
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- ACPの手引 「豊かな人生と共に…」

【報告書】

- 新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaiky@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」



肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



広島県内のダニ類媒介感染症 つつが虫病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)



予防接種の普及を目指して



医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル



新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書



ACPの手引 豊かな人生をと共に…



C型肝炎「わたしの手帳」

など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索

